

国際障害者年を考える集い

提言 障害者との心ふれあいを橋本俊
提言 障害児の親として 小田良一
提言 障害児教育を通して 田中一十河路丸

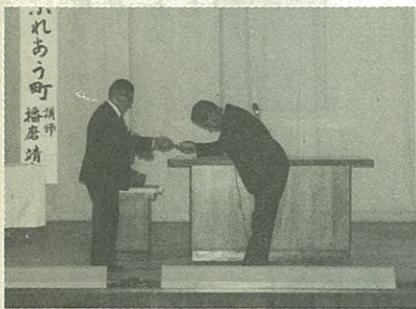


車いすの人も参加



アトラクションには札幌から歌うボランティアの皆さんが

ふれあい広場に500人が参加 ひろげよう福祉の輪(下)



チャリティー募金を社協会長へ手渡す横山実行委員長



桜田副実行委員長が最後に81まくべつアピールを朗読



1F和室では身障害者の作品展示即売も行われました。



播磨さんの講演に参加者も真剣に聞き入っていました

第一回幕別町ふれあい広場「国際障害者年を考える集い」が十二月二十二日、町民会館に五百人が参加して行われました。
この集いは、障害を持つ人も健常者も、ともに幸福に暮らせる社会づくりを考えるもので、スライドによる幕別町の障害者福祉の現状、障害を持つ人からの提言「奈良市たんぼの家」理事長・播磨靖夫さんの記念講演が行われました。
また、この集いを呼びかけるにあたって行われたチャリティー募金では三十四万五千元が集まり、「障害者福祉基金」が造成されることになりました。

まくべつ

'81 (昭和56年)

12

359 ●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555) 4-2111
●編集・町民課広報聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

に使ったお金

「より住み良いマチづくり」を目標に町では、毎年いろいろな事業を進めています。昭和五十五年度にマチづくりに使われたお金の内容(町財政状況)をお知らせいたします。

これは、町民の皆さんに、皆さんが納められた税金の行方と町財政のしくみを知っていただくためのものです。

一般会計及び国民健康保険特別会計などで、公営企業会計以外の六特別会計を合せた昭和五十五年度決算状況は、表一に示すように歳入総額九十三億一千六百九十九万一千円、歳出総額九十二億一千五百七十五万二千円でした。これを前年度(五十四年度)と比較しますと歳入において十一億七千六百七十五万七千円(一四・五%)の増、歳出では十一億六千四百四十四万七千円(一四・五%)の増となりました。

一般会計

一般会計は、歳入総額七十八億二千八百二十四万円、歳出総額七十七億七千六百一十千円でした。その結果、歳入歳出差引五千七百七十九万九千円の剰余金が生じ、町財政は健全財政が保たれているといえます。

生じた剰余金のうち、翌年度へ

の繰越事業がありませんので、財政調整基金に三千万円の積立てを行いました。よって、実質繰越額は、二千七百七十九万九千円となります。

歳入

歳入決算額は七十八億二千八百二十四万円で、前年度と比較しますと八億二千二百五十五万六千円(一一・七%)の増となりました。歳入財源の構成状況は、図一のとおりです。

このなかで、皆さんが納められている町税は七億九千八百五十二万七千円で、前年度と比較して一億三千三百二十三万六千円(一七・四%)の増となっています。また、町税の歳入総額に占める割合は一・五%で前年度(一〇・九%)を大きく上回りました。

税目ごとの内訳では、町民税個人八千三百五十四万三千円(二五・九%)の増、町民税法人二千四百六十七万七千円(一・六%)の増、固定資産税三千四百六十九万二千円(一四・三%)

表-1 昭和55年度 決算の状況 (単位千円)

会計名	歳入	歳出	差引残
一般会計	7,828,240 11.7%増	7,771,061 11.2%増	57,179
特別会計	1,487,951 31.2%増	1,444,691 29.9%増	43,260
1) 国保会計	795,705	757,241	38,464
2) 簡水会計	34,339	33,363	976
3) 下水道会計	559,375	559,018	357
4) 営農用水会計	11,043	9,988	1,055
5) 区画整理会計	81,658	79,589	2,069
6) 飲供会計	5,831	5,492	339
計	9,316,191	9,215,752	100,439

()内は対前年比

の増、たばこ消費税一千六百二十二万六千円(二二・〇%)の増となっています。

町の歳入で最も大きな割合を占めているのが地方交付税です。地方交付税は、国が国税(所得税・法人税・酒税)の一定割合を地方公共団体へ交付するお金で、五十五年度は二十一億一千七十二万四千円でした。これは、前年度と比較し一億六千四百八十三万六千円(八・五%)の増となりました。

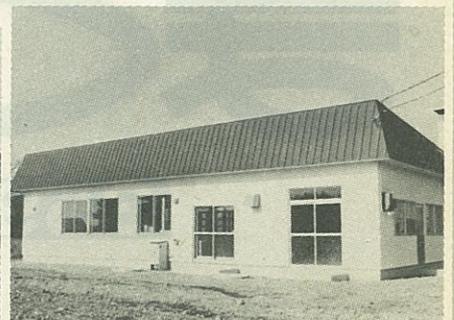
町税を含め町が自由に使えるお金(自主財源・図一参照)は、十八億四千六百二十万二千円(二三・七%)で、前年度と比較し三億三千五百六十六千円(二二・八%)の増となりました。



美川担い手会館



児童館



老人趣味の作業所

マチづくり

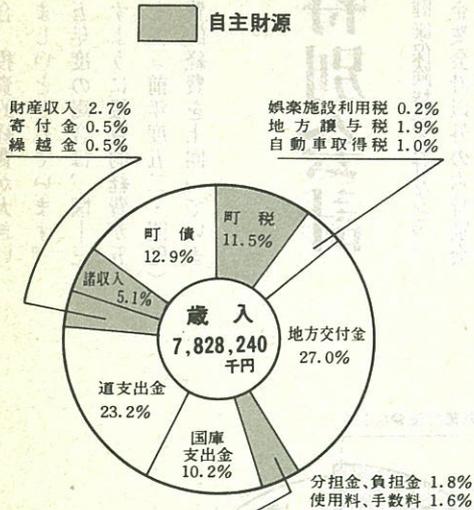


図-1 財源の構成状況

国や道、そして町民の皆さんが納められたお金だけでは、数多くの事業を行うことはできません。そこで、国や金融機関から借入れたお金を町債といいますが、五十五年度の場合、十億一千四百七十万円で歳入総額に占める割合は一二・九%でした。これを、前年度と比較しますと二億八千八十万円(二七・七%)の減となっています。

また、町財政の健全性を計るものに公債費比率があり、町財政運営に影響を与えない程度は一〇%目安とされています。本町の場合、五十五年度は、一〇・二%(前年度九・七%)で健全財政がやや保たれているといえます。

その他の財源では、歳入総額の四分の一を占めている国・道支出金があります。五十五年度の場合、二十六億一千九百九十二万六千円(歳入の割合三三・四%)でした。国

道支出金は事業の一部を国や道が負担するものです。ところが、国や道の基準が低いため町の負担が大きくなる場合があります。これは表一ををご覧ください。

歳出決算額は、七十七億七千六万一千円で、前年度決算額と比較して八億三千二百七十七万二千円(一一・二%)の増となりました。

五十五年度は、札内北小学校校舎建設、相川小学校の増改築など教育施設の整備を重点に、生活環境、生産基盤の整備が行われました。

歳出の内容を「目的別」にみますと、図二のように農林業費が二十三億五千九百九十九千円(三〇・二%)と最も大きく、以下、教育費が十三億四千六十八万八千円(一七・三%)、土木費が十二億八千六百四十三千円(一六・五%)となっておりあります。

歳出

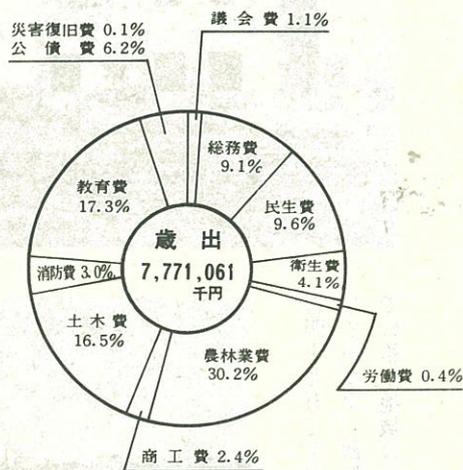


図-2 歳出目的別決算内訳

用語の説明

- 歳入 収入のこと。
- 歳出 支出のこと。
- 公債費比率 「公債費」とは町が借りた資金の償還に要する経費をいい、その経費が経常一般財源に占める比率をいいます。
- 経常一般財源 一般財源とは町が収入するお金で、その用途が指定されていないものをいい、経常的に毎年度収入されるものをいいます。
- 消費的経費 支出効果が短期で終るもの(例一 人件費、物件費、維持補修費など)
- 投資的経費 支出効果が長期に持続するもの(例一 建設事業費など)

町財政の健全性を歳出面からみる方法として「消費的経費」と「投資的経費」の比較があります。こ



千代田通り街路



桂町に建設された公営住宅



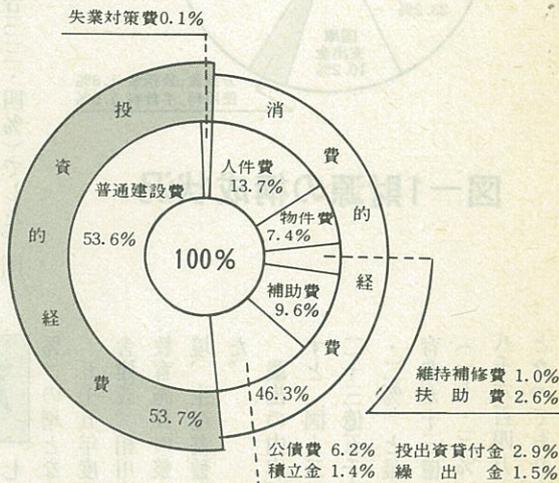
相川小学校

の場合、投資的経費が大きい程望ましいとされています。五十五年度の場合は、図一三に示すように投資的経費が五三・七％（前年度五二・四％）と消費的経費を上回っています。

特別会計

国民健康保険特別会計などで、公営企業会計以外の六特別会計の決算状況は、表一のとおり、歳入額が十四億八千七百九十五万二千円、歳出総額は

十四億四千四百六十九万二千円です。



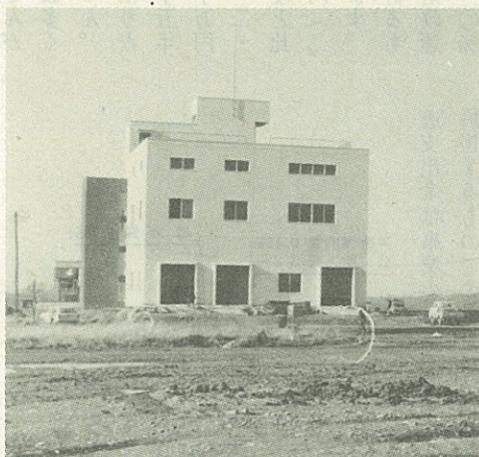
図一三 歳出性質別決算内訳

表-2 超過負担の主なもの

(単位千円)

事業名	負担率	補助対象額	補助基本額	補助金額	超過負担額
相川小校舎・屋体	⅓・⅓・⅓	163,752	161,918	71,926	739
札内北小校舎	⅓	355,030	349,892	233,261	3,425
幕中校舎	⅓	22,781	14,365	4,788	2,805
国民年金事務費	⅓	17,409	11,895	11,895	5,514
保育所運営費	⅓	77,046	59,549	47,640	13,998
農業委員会費	⅓	14,628	10,405	10,405	4,223

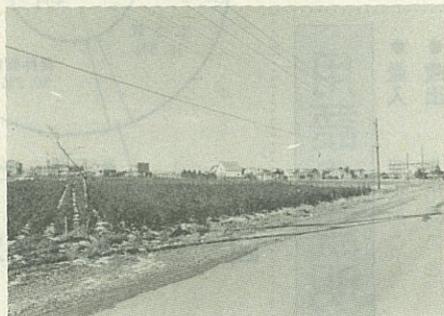
昭和58年度共用開始に向け事業が進められている公共下水道事業



完成した管理棟

六特別会計のなかで、最も大きく、歳入額で三億五千四百二十万一千円（三一・二％）の増、歳出額は三億三千二百二十七万五千円（二九・九％）の増となっています。

百四十九万二千円をそれぞれ支出しています。飲料水供給施設会計での給水地域は五位、西和です。

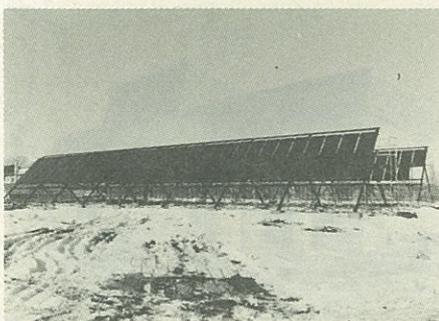


事業が始まった札内地区画整理事業

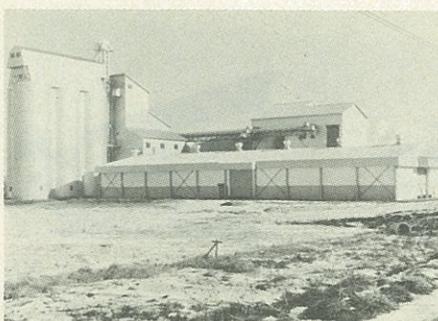
国民健康保険会計は三千八百四十六万四千円の剰余金が生じ健全財政を保つことができました。これは、冬期間の感冒、インフルエンザの流行が少なかったことなど、医療費が予想したよりも伸びなかったためといえます。しかし、年々医療費の給付額は増加の傾向にあり国保運営に大きな不安材料を残しています。

公共下水道会計は、事業も第一期工事が最終段階に入り、事業費も大きく伸び前年度に比較して一億七千六百二十二万円（四六・〇％）の増となっています。

土地区画整理事業会計と飲料水供給施設会計は、五十五年度に新設された会計です。土地区画整理事業会計は、七千九百五十八万九千円、飲料水供給施設会計は、五



温水プールのソーラーシステム



札内農協麦乾燥施設



途別日新線道路

昭和五十六年度

文化・スポーツ表彰行われる

二十個人・十五団体を表彰

町では、幕別町の文化・スポーツの振興に特に功績のあった方、あるいは優秀な文化活動を行っている方、また、スポーツに優秀な成績を収められた方々を表彰していますが、「昭和五十六年度文化・スポーツ表彰式」が十一月十五日、町民会館において行われました。



この表彰は、昨年まで、開町記念日に町功労者表彰式に合せて行われていたが、ことしから新たに「幕別町文化表彰規則及び同スポーツ表彰規則」を定め教育委員会で表彰することになったものです。

ことしは、文化賞を三個人、スポーツ賞を二個人が受賞、また、文化奨励賞は二個人、一団体、スポーツ奨励賞は十三個人・十四団体が受賞しました。

表彰式では、大石町長が「より

一層のご活躍を」とお祝いのご言葉をのべられ、受賞者を代表し中村実さんが「荣誉ある賞をいただきお礼申し上げます。これからも町の文化・スポーツの発展に努力していきたい」とお礼のことばをのべられました。

各賞を受賞された方は次のみなんです。

■文化賞



乙武宗恵さん
(南町・無職)

昭和二十七年帯広市裏千家(茶道)入門、三十五年に茶名授与以来二十年間、自宅を解放し、茶道教室を開き、広く町民の茶道の指導普及に努め、後継者の育成に貢献した。



中村実さん
(錦町・美容師)

昭和二十九年小室錦玉師に民謡を師事、昭和三十三年幕別民謡会を設立指導にあたる。幕別町文化協会長、十勝民謡協会長、北海道民謡連盟副会長、全国民謡協会常任理事を歴任。

■スポーツ賞



九本栄一さん
(依田・民謡講師)

昭和三十三年札内民謡友の会を設立、四十四年十勝民謡友の会を設立し民謡の普及に活躍、北海道連盟資格認定副委員長、審査委員を歴任。



金須武さん
(宝町・会社員)

昭和三十四年町体育連盟野球審判部の設立と同時に審判副部長を務めるなど正しい野球技術の普及に尽くした。



安部政夫さん
(途別・養鯉業)

昭和三十年十勝柔道連盟幕別支部長に就任、昭和五十二年までの二十二年もの永きにわたり、本町柔道の普及発展に尽された。現在も全幕別柔道連盟理事長を務め連盟運営にあたっている。

■文化奨励賞(敬称略)

沖田素啓(豊岡) 小山直紀(相川) 幕別かるた同好会・吹

雪の松
■スポーツ奨励賞(敬称略)

柳橋敏雄(相川) 宮部定信(札内桂町) 坂野幸代(本町) 美濃寛士(糠内) 相沢ゆかり(千住) 須田拓也(糠内) 中橋利彦(札内桂町) 田村道子(札内春日町) 豊吉勝也(札内西町) 金尾由美子(札内青葉町) 伊藤砂智子(緑町) 高橋敦子(札内共栄町) 竹内満晴(新町) 幕別町軟式野球チーム 幕別中学校女子水泳チーム 幕別中学校ソフトボール部 札内中学校陸上競技部 駅伝チーム 幕別中学校男子八百リレーチーム 幕別スイミングスクール男子Cグループ 同女子A・Bグループ 幕別小学校六年男子リレーチーム(重複受賞を除く)

たばこ消費税は
暮らしの中に
生かされています



●たばこは町内で買ひましょう。

守られていない

基本的ルール

— 加藤さん・奥村さんがパッカー車に体験同乗 —

生活環境をより良いものにするために、大きな障害となりつつある

「ゴミ問題」を九月号から特集で皆さんと考えてきていますが、

今月号は「パッカー車に乗って」と題して、ゴミの出し方

などについて皆さんと考えてみたいと思います。



幕別町のゴミ収集は、燃えるゴミが週二回、燃えないゴミが月二回それぞれ収集されています。一般家庭では、ゴミを収集日当日、朝八時までに近くのゴミ・ステーションに出すと、パッカー車（ゴミ収集車）が来て回収していくシ

ステムになっています。

そこで、一般家庭のゴミの出し

方や収集作業の実態を、実際に体験していただくとう町内の主婦二

人にパッカー車に同乗していただき

ました。その様子と感想をもとに「ゴミの出し方」などについて皆

さんと考えてみたいと思います。

体験していただいたのは、加藤美代子さん（旭町）と奥村元栄さん（札内あかしや町）です。

二人は、札内清掃センター前を二台のパッカー車に分乗、加藤さんは札内新北町方面へ、また、奥村さんは旭町方面へ向いました。

現地に着き、赤とんぼの音楽とともに作業開始です。ゴミステーション一カ所あたり平均七個のゴミ袋が手際よく片付けられています。この日は、二台とも燃えるゴミの収集日で、ゴミの量は多いようです。

作業開始後十分、札内新北町方面に向った車の作業が中断されました。加藤さんが車を降り話しを聞いてみますと、「紙くずといっしょに空カンが三個出てきた」との

ことでした。車は、空カンを袋から出しステーションに置き出発です。

—そして、また、二カ所ほど過ぎた所で今度は「空カン・空ビンばかり詰めた袋」もいっしょに出されているのを発見。袋ごとステーションに残すことになりました。

網の目のように設けられたゴミステーションを一つひとつ回るうちに、ゴミ袋が山のように出されているステーションに着きました。

加藤さんが車から降り収集作業に携っている人に「いつもこのようにゴミが多いのですか」と質問す

ると「いつも多い」とのことでした。ゴミ袋は一つひとつなかを確認しながらパッカー車に積み込まれていきます。

ところが、やはり、空カンなど燃えないゴミが混入されている袋が出てきました。袋を開き空カンを出します。その他に、袋の口が開き、なかのゴミがこぼれているもの、底が抜けそうなダンボール箱が目につきます。

このように、収集作業を中断しながら、一時間三十分ほどで二、五ト積まざるパッカー車がいつぱいとなり、体験同乗は終わりました。

収集作業をする人の側

に立って考えよう

司会 初めてパッカー車に乗ったの感想をひとこと。

加藤 燃えるゴミの中に燃えないゴミが混入している実態を見てびっくりしました。

奥村 私も同じです。収集作業をする人が、一つひとつ確認しなければならぬ大変だなあと思いました。

司会 どのようなものが混入されていましたか。

奥村 空カン・空ビンもそうですが、発泡スチロールなど燃えな

ると「いつも多い」とのことです。燃えないゴミが混入されている袋が出てきました。袋を開き空カンを出します。その他に、袋の口が開き、なかのゴミがこぼれているもの、底が抜けそうなダンボール箱が目につきます。

このように、収集作業を中断しながら、一時間三十分ほどで二、五ト積まざるパッカー車がいつぱいとなり、体験同乗は終わりました。

い、ゴミが多かったですね。

司会 それでは、回収されずにステーションに残されていくわけですね。

奥村 そうです。収集作業をする人がなから取り出して置いています。でも燃えないゴミの方が多い場合は袋ごと残していきます。

加藤 発泡スチロールが燃えないゴミに含まれることがわからぬ人もいます。

奥村 でも、空カンもいっしょに入っているの、燃えるゴミ・燃えないゴミの考えのない人なので

は。

加藤 自分の家の中さえきれい

ゴミ問題を考える④

拾った空カン なんと2,500個

—10月25日国道38号線を清掃—

国道三十八号線沿いに空カン回収を行ったところ、二千五百個の空カンが回収されました。これは、冬を迎える前に「空カ



ンなどゴミを一掃しよう」と道が「空カンゼロの日」を設け、これに、町や町衛生会が町民の皆さんに呼びかけて行われたものです。行われたのは十月二十五日で、四十六人の方が参加しました。二人一組になり、千住橋を中心に幕別と札内から空カン、空ビンを持ち帰ります。拾った空カンなどはピニ

ール袋に詰められ、歩道に置かれていきます。それを、パッカー車で回収するといった方法で進められ、一時間ほどで作業は終了しました。回収された空カンは何んと二千五百個。空カンの種類は清涼飲料水が九〇%を占め、車の窓から投げ捨てられたものと考えます。この日、参加した金子光幸さん（札内あかしや町）は「ひどいものですね。ここが自分の家の庭でも捨てるのでしょうかね」と話していました。道路も公園も、皆さんの庭と同じように大切にしてほしいものです。



加藤さん

にならばと考えているのでしようか。

司会 ほかに何か気付いた点はありませんでしたか。

加藤 ゴミの袋が開いていてなかのものが散らばっているものや水切りが十分できていなく、袋から水がたれているもありました。

奥村 空ビンが入っていた場合ゴミを圧縮するとき割れて、破片

だけがをしたこともあると作業の人が言っていました。

司会 皆さんの家庭ではどのようになっていますか。

奥村 私の家では、燃えるゴミ燃えないゴミと二つのゴミ箱を用意して区別しています。

加藤 私は、紙類は燃やし、残飯は埋めて処理しています。ですから出るゴミは、ほとんどが燃えないものばかりです。

司会 この問題を地域ぐるみで解決する方法はありませんか。

加藤 家庭に焼却炉をもち、燃えるゴミは自分で処理し、収集に出すのは燃えないゴミぐらいにしたら。これを地域で取り組むとゴ



奥村さん

ミの量も減るし、よいのでは。奥村 公区の婦人部など奥さんたちの集まりの中で話し合っ集作業をする人の側に立てゴミを出すよう心がけることが大切だと

思います。

司会 ゴミ問題は、一人ひとりの「心」の問題といえるようですね。今日は大変ご苦労さまでした。

健康 ⑧ カルテ

「かぜ」

「健康カルテ」今月は「かぜ」についてです。「かぜ」は季節の変わり目や冬に多く発生します。正しい健康管理に心がけ「かぜ」にかからないようにしましょう。

「かぜ」とは、鼻、のど、気管支、肺までの呼吸器の粘膜における急性の炎症による病気をまとめていいます。

急性の炎症をおこす原因には、寒さやアレルギーなどもあります。細菌やウイルスの感染でおこるものが大部分です。

「かぜ」の症状には、くしゃみ、鼻みず、鼻づまり、のどの痛み、せきなど呼吸器の炎症による症状と熱、頭痛、腰の痛み、全身のだるさなど全身症状とがあります。

「かぜ」は、症状によって次の二つに分けることができます。

ます。

・普通感冒——くしゃみ・鼻水・鼻づまりなど鼻炎の症状がとくに強く現われる型でいわゆる「鼻かぜ」です。一週間で治ります。

・インフルエンザ（流行性感冒）——インフルエンザウイルスが病原体でおこります。急に高い熱が出て、腰の痛みや全身のだるい感じなどが強く現われます。三、四日で熱が下がり一週間ほどで治ります。

このほか、咽喉炎、気管支炎、肺炎なども「かぜ」に含まれます。

治療では、まず、体を暖かくして安静にすることが大切です。熱がある場合は、早目にお医者さんの診療を受けましょう。

「かぜ」の予防には、過労や睡眠不足を避け、栄養バランスに注意しましょう。また乾布摩擦や冷水摩擦を行い、薄着の習慣をつけ「かぜ」の誘因となる寒さへの抵抗力を養うことが大切です。

年末年始を迎え、健康管理がおろそかになりがちです。注意して楽しいお正月を。

冬道の交通安全

「スピード・ダウン、車間距離は夏の2倍に、急ブレーキ、急加速はしない、断続ブレーキの活用」で事故のない我が家。

北海道の最低賃金

最低賃金の件名	最低賃金額	
	日額	時間給
北海道 (地域包括)	2,866	359

(産業別)

食料品製造業	3,265	409
	2,909	364
木材・木製品・家具・装具製造業	3,331	417
	2,941	368
出版・印刷・同関連産業	3,375	422
	3,019	378
窯業・土石製品製造業	3,321	416
	2,914	365
機械・金属製品等製造業及び自動車整備業	3,385	424
	2,945	369
卸売業 小売業	3,178	398
	2,866	359

単位 円

この改定により、地域包括最低賃金は十月三日から日額二千八百六十六円(時間給三百五十九円)となり、産業別最低賃金は十一月六日から現行より日額百七十五円から二百十円それぞれ引き上げ

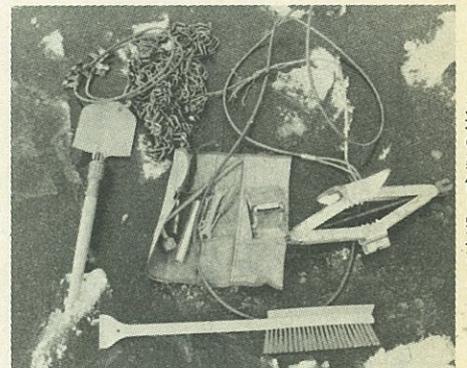
北海道労働基準局では、北海道内に適用される最低賃金を別表のとおり改定しました。この改定により、地域包括最低賃金は十月三日から日額二千八百六十六円(時間給三百五十九円)となり、産業別最低賃金は十一月六日から現行より日額百七十五円から二百十円それぞれ引き上げ

最低賃金を改正

最低賃金の目的は、道内で働くすべての労働者の賃金の最低額を保障し、生活安定を図るもので、道内の事業主の方は、これ以上の賃金を支払うことが義務づけられています。また、賃金を日給で定めた場合一日の所定労働時間がその事業所の一般労働者の所定労働時間より短かい方に対しても、最低賃金の日額以上の賃金を支払わなければならない。なお、詳しいことは、帯広労働基準監督署(帯広三二一八一〇〇)へお問い合わせください。

● 走行中の心得
冬道と夏道で違う大きな点は、タイヤと路面の摩擦係数が、冬道の場合、夏道と比べ五分の一と小さいことです。このため、急ブレーキ、急ハンドル、急加速を行つ

た場合、空転スリップ、尻振りなどが発生しやすく大変危険です。冬道の事故で最も多いのが追突事故で、夏季の二倍以上の車間距



冬道の装備は完全ですか

1人2口までOK
町民交通傷害保険
保険期間は来年3月まで
保険料は月額40円
★お申し込み、お問い合わせは
役場交通防災係、支所、出張所へ

離をとるようになり、走行中に尻振りが発生したら、あわててブレーキを踏まずに、直ちにアクセルペダルから足を離し

西幕別地区に町営リンクが誕生

西幕別地区に一周三百三十メートルの町営リンクが誕生することになりました。

西幕別地区には、これまで町営リンクはなく、各学校のリンク解放によって補われてきました。しかし、二年前から大きなリンクを希望する声が強くなり、六校(白人小・札内南小・札内北小・途別小・古舞小・札内中)のPTAの代表が集まり、西幕別地区スケートリンク運営委員会(会長・堀武士)を組織し、町教育委員会と話し合い、札内中学校グラウンドに造られることになったものです。

散水から除雪まで総てPTAの皆さんが行うもので、降雪の状態にもよりますが、十二月下旬には完成の予定です。運営委員会では、「リンクが完成したら多くの人が利用してほしい」と話しています。

同じ職場から二人が受章

帯広開発建設部札内機械整備工場に勤務し 同じ町内に住む西村さん、柳沢さん……

帯広開発建設部札内機械整備工場に勤務し、同じく札内新北町に住む同僚二人が、そろって秋の生存者叙勲を受章しました。

受章したのは、西村清吉さん(六十四歳) 勲七等瑞宝章と柳沢二郎さん(六十四歳) 勲七等青色桐葉章のお二人です。

このように、同じ町内、同じ職場から受章者が出るのは極めて珍しいことです。

西村さんは、芽室町で生まれ、昭和二十四年四月に幕別町統内機械工場に鍛冶工として入り、以来三十二年間鍛冶職一筋に河川改修に使う大型機械の製造、修理に従事してきました。



西村さん(左)と柳沢さん(右)

また、柳沢さんは、小樽市で生まれ、父親の後を継いで昭和十年池田町にある利別治水工場に入り以来、四十七年間、築堤内を走る機関車、掘削機、しゅんせつ機の組み立てに従事してきました。

二人は「春先の機械の組み立てそして、冬の解体と足場が悪く、寒い時期の作業が一番つらくてね。道路から河川まで一キロほどある道程を重い機械を手で運んだこともあるのですが、重くてね」。

また、現場に泊りこむのですが、食事はみんなで作るんですよ。排水を飲んだこともありませう。昔は水害が多くて、せつかく組み立てた機械が流されることも……」と昔を振り返り、思い出話しが飛び出しています。

また、受章にあたって「多くの先輩と同僚の人たちのおかげです。家族にも、特に、妻に感謝しています」と話す二人に、「この道一筋」といった重さが感じられます。

年末年始の火災予防

「火災の恐ろしさは体験した者でなければわからない」と言われますが、大切な財産や尊い生命までも奪ってしまう火災だけは、絶対に体験したくないものです。

町消防署では、例年、年末年始はなにかとあわただしく、また、

- 家庭の防火対策
 - ・寝る前、外出前に火の元を確かめよう
 - ・寝タバコ、くわえタバコはやめましょう
 - ・燃焼器具は定期的に点検を受けましょう
 - ・万一に備え避難口の点検及び除雪に努めましょう
- 事業所の防火対策

寄付者のお名前

町へ……

- ▽清野力雄さん(札内桜町)から働く婦人の家整備に使ってくださいと五万円
- ▽札内泉町公区(中山利昭公区長)の子供会から札内中学校図書購入費にと、みこしかつぎの祭銭三万円
- 町消防署へ……
- ▽矢島利勝さん(札内新北町)から消火栓一基(三十四万五千円相当)
- 町教育委員会へ……
- ▽幕別ロータリー会(額瀨清一会長)からロータリー文庫として図書百二十六冊(十万円相当)
- ▽小野鈴子さん(緑町)から図書二十二冊
- 町社会福祉協議会へ……
- ▽清原ひとみさん(軍岡)から

矢嶋さんが 百万円の寄付

矢嶋利勝さん(札内新北町)から、マンションの落成祝賀会を廃止して町の社会福祉に使ってほしいと百万円の寄付があり、大石町長に手渡されました。

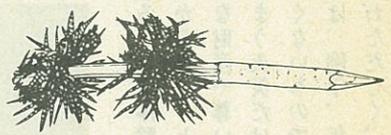


大石町長に手渡す矢嶋さん



幕別町ふるさと館
 〒089-05 幕別町字依田384-3 ☎(01555)6-3117
 A.M.9:30→P.M.6:00 毎週火曜日休館

第6回特別展 ● 1月15日から



アイヌのくらし

自然とともに生きてきた人々の知恵は、現代文明へ何かを問いかけている。アイヌの人々の生活をふり返ってみる特別展。
 [資料募集のお願い] アイヌ文化に関する資料を集めています。寄贈、あるいは貸していただける方、ご連絡ください。

たのしさをしらすら
 しらかば大学祭

12月6日

ことしも「しらかば大学祭」が十二月六日(日)午前十時三十分から、ふるさと館を会場に開かれる。六十五歳以上でなければ入学できないのが幕別町立しらかば大学。向学心に燃え、卒業辞退者が繰出、ついに大学院まで来た。昨年の第一回の大学祭より、さらにたのしみなりそう。

それでは大学祭のプランをあらためてのぞいてみよう。
 自主商品は、コーヒーの木、園芸部が春から育てた小さな苗を、陶芸部が作ったオリジナル植木鉢に入れて即売すること。買った人の努力しだいで四年後に実がなる。北国育ちのコーヒーはどんな味になるのだろうか? 部屋のインテリアにも、とってもいいのだ。限定百鉢なのでお早めに。
 つづいては「長生きコンサート」。

「新世界」をはじめ、若々しい演奏と歌声が冷たい十勝の冬空をあつたかく変えてしまおう。
 売り物はコーヒーの木その他にもまだある。手芸部・陶芸部・園芸部が心をこめて作ったコーヒーカーップや灰皿、人形etc...。売りたいような、でも手ばなしたくないようなで、作った人の心は複雑なんだろうけど、よりすぐりの品を一挙放出。値段の安さもさることながら、ぬくもりを感じさせる手さわりは満足度百パーセント。
 一年間の成果を見せよう作品展。どれど世界でただひとつの自信作だ。売り物ではないが、作った人と仲よくなれば、ゆずつてももらえるチャンスあり。また、大学院生が四月からずっと研究テーマとして取り組んだ「大正時代

の町の地図」がほぼ完成し、発表される。だれがどこに住んでいたかがわかっちゃう地図を見れば、それぞれのルーツをさぐる手がかりにもなる。
 チャリテイバザーは、五十年以上も台所で腕をふるいつづけたおばあちゃんが担当。インスタント

サケは死んでも皮残す

ジャンボ水槽で産卵し、一生を終えたサケたち。身はスモーク・サーモンに、皮は靴になった。
 昔、アイヌの人々はサケの皮を使って靴を作った(サケ皮の靴をアイヌ語で「ケリ」という)それを安東軍次郎さん夫妻が、小さいころに聞いた記憶と文献を頼りに再現してくれた。
 身を取った皮を陰干しし、作る時に水分を与え柔らかくして使う。昔の人々の知恵にあらためて感心させられる。見た目よりじょうぶで、防水性にもすぐれている。



サケの背中が靴底になり、背ビレがすべり止めになるそうで、昔の人々の知恵にあらためて感心させられる。見た目よりじょうぶで、防水性にもすぐれている。

が大流行の昨今、本物は違うなあとときつと感激することだろう。
 しらかば大学祭実行委員会は子どもたちへのプレゼントも忘れないう。ふだんは入れない開拓小屋を映画館にして「キャブテン・ハローック」を上映する。
 というわけで、年寄りらしくない、幕別の若々しいじいちゃんとおばあちゃんの大学祭が、そこいらの大学祭と同じくらい、あるいはもっとたのしそうだということがわかっていただけたと思う。しらかば大学祭をよりのしく、また企画した大学生のみんながうれしく思えるのは、会場にあふれるほどの人々が見に来てくれること。
 このほかスモーク・サーモンの火入れや、報道各社の取材もあつて、見に来て失望しない一日になること間違いなし。

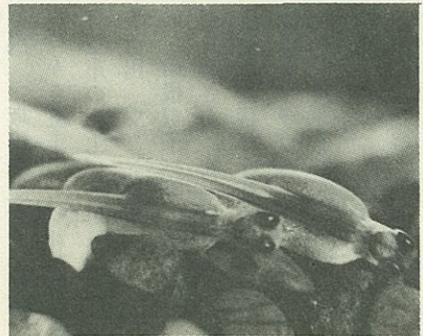
スモークサーモンと音楽で年を越そう

開拓小屋の寒さを体験しよう。と始めた「ふるさと館年越しシリーズ」第三弾の夜十一時から翌朝(元旦)日の出までの間無料開放。
 スモーク・サーモンの試食ができる。水槽で卵をうんだ後のサケで作った燻製である。十二月六日に火入れをし、大みそかまでおいしいスモーク・サーモンをと、スタツフはがなばっているが、味のほうはさてどうなることやら...。
 今回のテーマは「音」。クラシックをSPレコードで聞いてみる。もちろんラップのついた蓄音機である。また十五年前に作られた高さはさてどうなることやら...。
 開拓小屋は、ここに泊まりこんで新年を迎える人たちのために活動写真館になる。深夜興業で往年の映画をたのしもう。
 以上、幕別の新年をふるさと館で思い思いにすごしてみようという趣向。テレビの取材も予定されていて、にぎやかな年越しになりそうである。

サーモン通信

⑭

ジャンボ水槽でうみおとされたサケの卵は相川小・札内南小・幕別中・札内中の町内4つの学校でも飼育中。11月下旬からふ化が始まった。写真は札南小中学校の水槽で元気に育っている稚魚。次号からは各校の飼育の様子と子どもたちの感想を掲載します。



「幕別ものがたり」は休みました。次号から再び連載します。